

東京都立石神井高等学校 平成31年度 教科（総合的な学習の時間） 年間授業計画

教 科：総合的な学習の時間 単位数：1単位

対象学年組：第2学年A組～G組

教科担当者：(A組：田中)(B組：佐々木)(C組：村山)(D組：松井)(E組：岡本)(F組：坂口)(G組：高嶋)

使用教科書：(なし)

使用教材：(なし)

	指導内容	科目 総合的な学習の時間 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	ガイダンス	「総合的な学習の時間」年間指導計画について行う		1

	指導内容	科目 総合的な学習の時間 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	進路実現に向けて、自己の進路適性を理解する。進路情報を活用する。主体的な進路の選択決定と将来設計について考える。	自己の希望する進路に沿った大学・専門学校の調査・研究・訪問計画の作成を行う。調査・研究レポートの作成を行い、その内容についての意見交換をし、理解を深めさせる。大学教授による授業体験を行う。自己の将来について具体的に考えさせる。自分以外の人の夢や希望を知る。	調査・研究レポートを提出させ、その内容にさいて理解の深まりを評価する。取り組みの姿勢や参加意欲・提出物で評価する。	6

	指導内容	科目 総合的な学習の時間 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	進路実現に向けて、自己の進路適性を理解する。進路情報を活用する。主体的な進路の選択決定と将来設計について考える。	自己の希望する進路に沿った大学・専門学校の調査・研究・訪問計画の作成を行う。調査・研究レポートの作成を行い、その内容についての意見交換をし、理解を深めさせる。大学教授による授業体験を行う。自己の将来について具体的に考えさせる。自分以外の人の夢や希望を知る。	調査・研究レポートを提出させ、その内容にさいて理解の深まりを評価する。取り組みの姿勢や参加意欲・提出物で評価する。	5

	指導内容	科目 総合的な学習の時間 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	課題研究のガイダンス	修学旅行で行く長崎を中心とする九州の歴史・伝統・文化・生活習慣・産業・経済等についての調べ学習の方法について学ぶ。自己の課題研究のテーマを決定させる。	課題設定が明確になされたかを評価する。	1

8 月	指導内容	科目 総合的な学習の時間 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目 総合的な学習の時間 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	進路研究の報告・将来の目標を明確化する。	卒業後の自己のあるべき姿、具体的なイメージを描く。進路希望の目標を決める。オープンキャンパスの参加報告をさせる。将来の目標をレポート及びマークシートにまとめさせ明らかにさせる。	調査・研究レポートを提出させ、その内容にさいて理解の深まりを評価する。取り組みの姿勢や参加意欲・提出物で評価する。	2

	指導内容	科目 総合的な学習の時間 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	課題研究・発表	修学旅行で行く長崎を中心とする九州の歴史・伝統・文化・生活習慣・産業・経済等について自己の研究発表のテーマに沿っての調査・研究を行い、レポートにまとめさせる。その内容について意見交換をし、理解を深めさせる。課題研究の発表を行う。	調査・研究レポートを提出させ、その内容にさいて理解の深まりを評価する。取り組みの姿勢や参加意欲・提出物で評価する。	5
			他の生徒の発表を聞き、関心を持ってたかを評価する。生徒の自己評価・相互評価をさせる。	

	指導内容	科目 総合的な学習の時間 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	課題研究・発表	修学旅行で行く長崎を中心とする九州の歴史・伝統・文化・生活習慣・産業・経済等について自己の研究発表のテーマに沿っての調査・研究を行い、レポートにまとめさせる。その内容について意見交換をし、理解を深めさせる。課題研究の発表を行う。	調査・研究レポートを提出させ、その内容にさいて理解の深まりを評価する。取り組みの姿勢や参加意欲・提出物で評価する。	5
			他の生徒の発表を聞き、関心を持ってたかを評価する。生徒の自己評価・相互評価をさせる。	

	指導内容	科目 総合的な学習の時間 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	課題研究・発表	修学旅行で行く長崎を中心とする九州の歴史・伝統・文化・生活習慣・産業・経済等について自己の研究発表のテーマに沿っての調査・研究を行い、レポートにまとめさせる。その内容について意見交換をし、理解を深めさせる。課題研究の発表を行う。	調査・研究レポートを提出させ、その内容にさいて理解の深まりを評価する。取り組みの姿勢や参加意欲・提出物で評価する。	3
			他の生徒の発表を聞き、関心を持ってたかを評価する。生徒の自己評価・相互評価をさせる。	

	指導内容	科目 総合的な学習の時間 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	自己の在り方を見直し、改善にむけての課題を明確にする。	これからの高校生活・将来設計・就職観について、これまでの進路研究の成果をもとに自己の生活の在り方・生き方を見直し、改善に向けての課題を明らかにせる。進路講話（これからの進路設計について）を聞き、ワークシートを作成する。将来設計・進学志望理由等の小論文を書かせる。	課題設定が明確になされたかを評価する。取り組みの姿勢や参加意欲・提出物等で評価する。	2

	指導内容	科目 総合的な学習の時間 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	まとめ	一年間を振り返り、自己評価を行う。		2

3 月	指導内容	科目 総合的な学習の時間 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	担当 時数